

C O N T E N T S

- 【1】お知らせ：スマートフォンを活用した介護施設の目標管理
- 【2】セミナー参加者募集！！
- 【3】少年硬式野球チームのコーチと目標管理(13)
- 【4】信頼のある職場(2)
- 【5】職場を考える(2)
- 【6】菅浦農村家庭工業

MBO(目標管理)実践支援センターの考え方

【1】お知らせ：スマートフォンを活用した介護施設の目標管理

MBO(目標管理)実践支援センターが監修し、あすなる社が開発した「でん太くん」
<http://motto-asunaro.com/product/denta/> を活用し、目標管理を通じて職員
のコミュニケーションを促進し、職員の定着と能力アップを推進する介護施設
向けのセミナーを東京会場、大阪会場で開催します。勤務シフトの都合でミー
ティングを持つことが困難な施設で職員のコミュニケーションと学習を促進し、
競争力のある施設を作り上げていくことを目標とするセミナーです。
大阪会場：株式会社エム・シー・アンド・ピー セミナールーム
開催日時：2011年8月24日(水) 13:00-17:00
参加費用：無料

東京会場：関東ITソフトウェア健保会館
開催日時：2011年9月27日(火) 13:00-17:00
参加費用：無料

また、「でん太」をヒューマンキャピタル2011にあすなる社が出展します。
ヒューマンキャピタル2011：2011年7月6日(水)～8日(金) 東京国際フォーラム
<http://expo.nikkeibp.co.jp/hc/>

【2】セミナー参加者募集！！

人事データ活用法セミナー

目的：エクセルの分析ツールを用いて、企業内の人事データを分析する方
法を学びます。初歩的な統計技法を用いて、人事の全体像を把握す
る事が目的です。

開催日時：2011年7月11日(月) 13:00-17:00

会場：株式会社エム・シー・アンド・ピー セミナールーム
(大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビル12階)
http://www.mcp.co.jp/mcp/pop_osaka.html

参加費用：10,000円(消費税込)

対象：人事企画担当者、賃金実務担当者、
従業員満足担当者、福利厚生担当者

定員：10人

詳細はこちら

<http://mbo.mcp.co.jp/seminar/details/110711.html>

成果が見える研修企画法セミナー

目的：目標を設定し、その達成度を確認することによって研修の効果を把
握しながら、研修内容の改善をはかる目標訓練の考え方を学ぶセミ
ナーです。すっきり図法というオリジナルな技法を使いこなせるよ

うにすることが目的です。

開催日時：2011年8月8日(月) 13:00 -17:00

会場：株式会社エム・シー・アンド・ピー セミナールーム
(大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビル12階)
http://www.mcp.co.jp/mcp/pop_osaka.html

参加費用：10,000円(消費税込)

対象：人事企画担当者、賃金実務担当者、
従業員満足担当者、福利厚生担当者

定員：10人

詳細はこちら

<http://mbo.mcp.co.jp/seminar/details/110808.html>

第35回 目標管理推進者養成研修

開催日時：2011年12月13日(火)～12月16日(金)

会場：関西セミナーハウス
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
<http://academy-kansai.com/>

参加費用：190,000円(食事・宿泊費込、消費税別)

定員：最大15人

詳細はこちら

<http://mbo.mcp.co.jp/seminar/details/img/111213.pdf>

【3】少年硬式野球チームのコーチと目標管理(13)

【準備と片付け】

昨年の夏、新チーム発足当初は最高学年の子がシッカリ揃い、練習試合は連戦連勝で調子よくスタートをしました。この勢いで予選を勝ち抜き本戦出場！ところが・・・本戦では初戦敗退。何故か？新チームのメンバーは当然初めての本戦出場、気持ちはピクニック、開会式で出会った他のブロックの強豪チームの子供達と開会式終了後もオシャベリに夢中になり、試合会場(車で30分の移動)への出発に時間が掛かってしまったのです。試合会場到着後、見れば対戦相手は既にシッカリと試合前のアップを終わらせて準備万端、我がチームは遅れた分を取り返そうと、大人は慌てるが子供達はいつものノンビリペース。十分なアップも時間切れで出来ずに試合開始。投手はストライクが入らず、打者は振りが鈍く、野手はエラーと・・・。

私たちコーチ陣も反省しきり、翌週の練習は野球をせずにグラウンドの外から荷物を運び、アップが出来るまでの準備の練習を何十回も行い一日を割きました。子供達自身に役割分担を決めさせて、ブルーシートを敷く係がシートを敷いたら、ボールを運び、バットは纏めて3人が分担する等、どのようにしたら早く準備が出来るのかを考えました。結果、準備が早くなっただけでなく、片付ける時間も早くなりました。当然ですが、何度も同じことを繰り返すことで、広げた道具をまたグラウンドの外に運び出さなければならないので、片付けることも同時に練習が出来ました。

その後、チームは遠征先でも準備は本当に早くなり、十分なアップをすることで自分達のペースで試合に臨むことが出来るようになりました。そして試合結果もついてくるように。ちなみに、強豪チームを観察すると、遠征馴れしているせいか、やはり準備と片付けが非常に早く、野球の技量と相関があるようです。

野球の試合に勝つこともチームとしての目標ではありますが、先行指標である準備と片付けのスピードも当チームの目標になりました。

皆様の職場では、売上目標達成に向けた先行指標に何を掲げていますか？負けた要因を考え、勝つための準備を行っていますか？

イケメンコーチ

【4】信頼のある職場(2)

【信頼と信用】

4月入社から約2ヵ月。新入社員のその後はいかがでしょうか。はじめは会社や職場にうまく馴染んでくれれば良いと鷹揚に構えていた周囲も、早く仕事を覚えて戦力になってくれるよう新入社員の個別具体的な行動や結果に対して指導が始まっていることでしょう。

注意しないといけないことは相手の耳に痛くてもはっきり言ってあげることが本人のためだとわかっていても、素直に受け入れてくれるだろうか、萎縮したりしないだろうか、と考えだすとなかなか難しいものです。そんな悩みに対して、吉田博氏は「人と行動を区別して考える」ことを勧めています。要約すると、人は誰でも失敗や誤りをおかす不完全な存在であるからその行動は簡単に「信用」できないが、人は一方で仕事を通じて自分らしく貢献したいという心を有していることは全面的に「信頼」しようということです。「人間」を信頼することが、その人の「行動」に対して率直にフィードバックする勇気を与えてくれる。この発想が上司の部下管理のための健全な指針となると論じています。

仲間の一員として認めているんだ認められているんだという相互信頼をベースに、仕事ができるようになっていくかどうかはしっかりと見て率直にフィードバックすることが正しい接し方であり、その姿勢は新人と上司の間に留まらず、職場全体に広がって、構成員同士が自由に発言し合える風通しのいい職場へとつながっていくものと思います。（参考「職場管理の充実」吉田博1980）

三宅敬司（パートナー）

【5】職場を考える（2）

職場が果たす機能は、生産、学習、分配の3つの機能であることを、前回お話ししました。この機能を果たすために大切なことがあります。予測可能性です。

自分を取り巻く環境が曖昧であったり、不確実である場合、1人ひとりはその場で自由に動くことができません。何が起こるかわからない環境では、防衛的に構えざるを得ません。例えば、吉本新喜劇のストーリーはマンネリであるが故に安心でき、1人ひとりが自由に笑うことができます。いっぽう、遊園地のお化け屋敷では自由に笑うことができません。お化け屋敷から出てきたときに笑顔が出ます。つまり、予測可能であることが安心感を作り出し、個人が自由に動くことを可能にします。

職場における予測可能性を高めるのが、お互いの役割です。誰が、誰にどんなことを報告しないといけないのか、あるいは、どんなことを誰が決めるのか、それが予測可能であれば、安心できます。上司の行動が予測不能であれば、部下は防衛的になり、上司の行動が予測可能であれば部下が安心できる所以です。また、部下が予測不能な行動をとれば、上司は安心できません。君子は豹変しても良いが、平凡な私たちは周囲の人が予測できる範囲で動いていく事が大事なのでしょう。

（中嶋）

【6】菅浦農村家庭工業

この原稿を書く直前、滋賀県の奥琵琶湖に行ってきました。目的は2つ。ひとつは、蛸の群舞をみること。2つ目は中世の自治都市である菅浦地区の四足門を見ること。

菅浦地区は、鎌倉時代からの争いの記録などが菅浦文書として残されていることで有名です。漁業や湖上水運で栄えた土地です。琵琶湖に突き出た半島に立地し、山と湖の間の小さな面積に100戸ほど世帯が暮らしておられます。昭和45年までは、道がついておらず、交通手段は船しかなかったという場所です。村の結界に立つ四足門（柱が4本の茅葺きの門）は現在も東と西の2つが残っています。緊急時には門を倒してバリケードにしたり、それを燃やして狼煙にしたといわれます。集落のなかには若い方の今風の住居と昔からの住居と考える住居が同居しています。湖越しに集落を眺めると美しい眺めになっています。

菅浦で、「菅浦ヤンマー農村家庭工業」という会社を見つけました。名前がいいですね。また、集落のなかには、庭先に「第 作業所」と書かれた小さな小屋が20ほどあります。農村家庭工業の敷地は100坪くらいでしょうか。この

地域出身のヤンマーの創業者が雇用を生み出すために協力された工場の名残で
しょう。

農村家庭工業に立ち寄って見ましたら、75歳くらいのお婆ちゃんが出てこ
れました。方言で話され、漁具や生活道具の名前がわからないこともあって、
話は半分くらいしかできなかつたのですが、「ヤンマーの部品を作ってる」、
「仕事があるので有難い」という事を間違いなくいわれたと思います。機械1台
か2台の小規模投資ではあっても、狭い地域にそれを集積させることによって田
園サプライチェーンのようなものができる。

東北地方の復興にもこの発想を生かせるのではないかと感じました。

代表 中嶋哲夫

MBO(目標管理)実践支援センターの考え方

MBO(目標管理)実践支援センターはMBO(目標管理)を組織内で展開するための
ノウハウを蓄積し、人事担当者に提供するためのセンターです。営利事業と非
営利事業を組み合わせることでこの機能を果たしていくつもりです。

<http://mbo.mcp.co.jp/>

編集・発行 / MBO(目標管理)実践支援センター

\ / 代表 / 中嶋哲夫 <http://mbo.mcp.co.jp/>

事務局 / (株) M C & P TEL:06-4706-3312

最後までお読みいただきましてありがとうございます。

このメールマガジンは、センターの講師陣が出会った方々に感謝の気持
ちを込めて送らせていただいています。もし、ご関心のない場合には、ご
面倒ですが解除の手続きをお願い申し上げます。

このメルマガを読んでもらいたいお知り合いをぜひご紹介ください。

メルマガの配信停止を希望される場合は、

下記「お問い合わせフォーム」にて、MBOメルマガ配信停止希望 と
ご記入の上、送信願います。

<https://secure.mcp.co.jp/contact.html>

このメールアドレスは配信専用となっております。

返信いただいても対応はいたしかねますのでご了承ください。

ご連絡は下記のアドレスまでお願いいたします。

mbodoor@mbo.mcp.co.jp

本メールの無断転載・複製を禁じます。